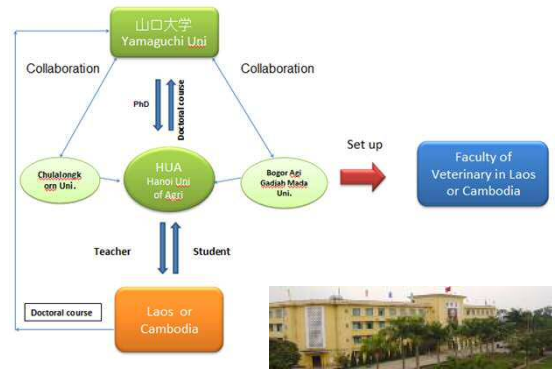


インドシナ地域における拠点・支援大学の教育実態調査と相互交流

共同獣医学部 音井威重

インドシナ地域における拠点・支援大学の教育実態調査と相互交流



国際化推進事業

平成21年度

- ①ラオス・カンボジア地域における国内外での獣医師育成の実態と教育体制を調査。
- ②拠点大学での教育シンポジウム開催と学生・教員との交流。
- ③プラットフォーム参加大学の教育技術リソースの収集と実態調査

平成22年度

- ①ラオス地域における国内外での獣医師育成の実態と教育体制の詳細な調査（特にラオス国立大学での獣医学教育）。
- ②拠点大学（ハノイ農業大学）担当者を交えた今後の計画策定。

平成23年度

- ①ハノイ農業大学での協力体制の確認
- ②畜産研究所との動物資源調査

平成24年度

- ①ハノイ農業大学での学生交流
- ②ミニ豚の遺伝子保存に係る共同研究

平成25年度

- 拠点大学等の教員養成としてベトナムとの共同研究（希少品種である在来豚の遺伝資源の保存）による予算獲得（SATREPS）に向けた事前調査

インドシナ地域における拠点・支援大学の教育実態調査と相互交流

平成21年度

- ①ラオス・カンボジア地域における国内外での獣医師育成の実態と教育体制を調査。
- ②拠点大学での教育シンポジウム開催と学生・教員との交流。
- ③プラットフォーム参加大学の教育技術リソースの収集と実態調査





平成22年度

ラオス地域における国内外での獣医師育成の実態と教育体制の詳細な調査（特にラオス国立大学での獣医学教育）。



平成23年～24年度

- ① ハノイ農業大学での協力体制の確認
 - ② 畜産研究所との動物資源調査（SATREPS獲得への取り組み開始）
- ベトナムは、世界的に豚の飼養頭数が多く、世界の5本の指に入る。2千7百万頭6品種（I, Mong Cai, Muong Khuong, Soc, Meo and Co）の在来種が現存する。

獣医学科5年
高岡 亜沙子

① ハノイ農業大学での学生交流（獣医学部6年生と）



